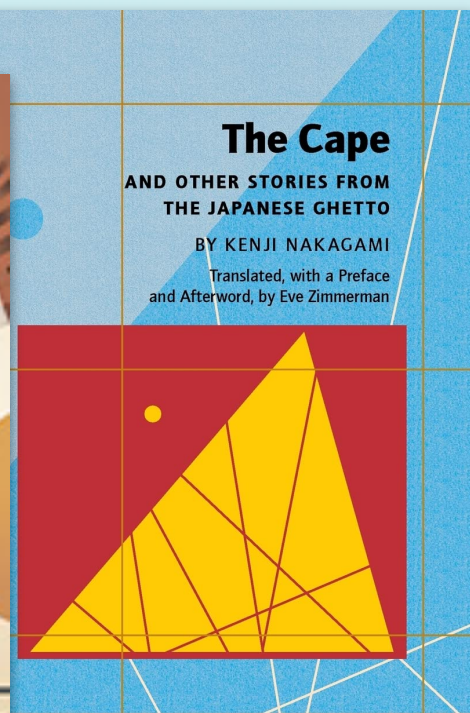
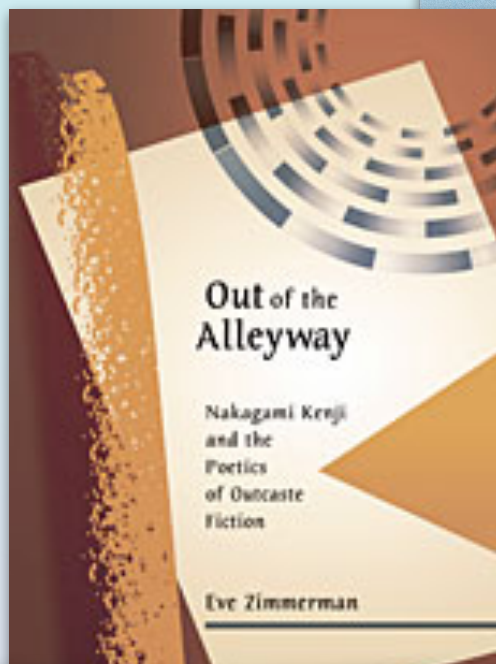


11/30 木曜

14:40-16:10 4限  
小平キャンパス 5102

申込不要  
参加無料

学外の方は津田塾大学守衛所  
にてお名前・御連絡先を  
記入していただきます。



## 日本文学の翻訳から見えてきた今日的課題

Dept. of East Asian Languages and Cultures,  
Wellesley College

Prof. **Eve Zimmerman**

### 略歴：

戦後日本文学の研究者・翻訳家。  
著書に“*Out of the Alleyway: Nakagami Kenji and the Poetics Of Outcaste Fiction*”（『中上健次と部落小説の詩学』）。訳書に中上健次 “*The Cape and Other Stories from the Japanese Ghetto*”（『岬』）など。戦後日本の女性作家や漫画家たちがジェンダー、セクシュアリティ、歴史についての見解を表現するために「少女時代」という流動的なカテゴリーをどのように使ってきたかについて執筆中。

### 講演概要：

文学翻訳の歴史は、翻訳者の創造的な手法の例に満ちている。漢詩に取り組んだエズラ・パウンドにせよ、『嵐が丘』に取り組んだ三宅幾三郎にせよ、能動的な翻訳者は、「逆向きの影響力」によって、原典をより創造的なものに変容させる。筆者の研究に即して言うならば、戦後日本の女性作家がどのように翻訳テキストを利用して新しいジェンダー詩学を創造したのか、という例が挙げられる。また、翻訳の実践と詩学を通して、自分自身の日本文学の読み方



がどのように形成されてきたかを探求することも、筆者の関心事項である。